

就労継続支援A型事業所におけるスコア表（全体）

事業所名	ウイズユー千代工場
住所	鳥取県鳥取市晩稻306番地
電話番号	0857-31-0077

事業所番号	3110100546
管理者名	岡部哲彦
対象年度	令和5年度

(I) 労働時間		90 点
①1日の平均労働時間が7時間以上	<input type="radio"/>	
②1日の平均労働時間が6時間以上7時間未満		
③1日の平均労働時間が5時間以上6時間未満		
④1日の平均労働時間が4時間30分以上5時間未満		
⑤1日の平均労働時間が4時間以上4時間30分未満		
⑥1日の平均労働時間が3時間以上4時間未満		
⑦1日の平均労働時間が2時間以上3時間未満		
⑧1日の平均労働時間が2時間未満		

①90点 ②80点 ③65点 ④55点 ⑤40点 ⑥30点 ⑦20点 ⑧5点

(IV) 支援力向上 (※)		15 点
①研修計画に基づいた外部研修会又は内部研修会 参加した職員が1人以上参加している	<input type="radio"/>	
②研修、学会等又は学会誌等において発表 1回以上の場合	<input type="radio"/>	
③視察・実習の実施又は受け入れ いずれか一方のみの取組を行っている	<input type="radio"/>	
④販路拡大の商談会等への参加 1回以上の場合	<input type="radio"/>	
⑤職員の人事評価制度 人事評価結果に基づき定期的に昇給を判定する制度を設け、全ての職員に周知している	<input type="radio"/>	
⑥ピアサポーターの配置 ピアサポーターを職員として配置している		
⑦第三者評価 過去3年以内の福祉サービス第三者評価を受審しており、結果を公表している。		
⑧国際標準化規格が定めた規格等の認証等 都道府県知事が適当と認める国際標準化規格が定めた規格その他これに準ずるものの認証を受けている		
小計(注2)	5	点

(※) 8項目の合計点に応じた点数 (注2) 5以上:15点、4~3:5点、2点以下:0点

(II) 生産活動		40 点
①過去3年の生産活動収支がそれぞれ当該各年度に利用者に支払う資金の総額以上		
②過去3年の生産活動収支のうち前年度及び前々年度の各年度における生産活動収支がそれぞれ当該各年度に利用者に支払う資金の総額以上		
③過去3年の生産活動収支のうち前年度における生産活動収支のみが前年度に利用者に支払う資金の総額以上	<input type="radio"/>	
④過去3年の生産活動収支のうち前々年度における生産活動収支のみが前々年度に利用者に支払う資金の総額以上		
⑤過去3年の生産活動収支のうち前年度及び前々年度の各年度における生産活動収支がいずれも当該各年度に利用者に支払う資金の総額未満		
⑥過去3年の生産活動収支がいずれも当該各年度に利用者に支払う資金の総額未満		

①60点 ②50点 ③40点 ④20点 ⑤-10点 ⑥-20点

(V) 地域連携活動		10 点
地域の事業者と連携した付加価値の高い商品開発、企業や官公庁等での生産活動等地域社会と連携した活動を行い、その結果をインターネット等により公表している	<input type="radio"/>	

1事例以上ある場合:10点

(III) 多様な働き方 (※)		15 点
①免許・資格取得、検定の受検勧奨に関する制度 就業規則等で定めている	<input type="radio"/>	
②利用者を職員として登用する制度 就業規則等で定めている		
③在宅勤務に係る労働条件及び服務規律 就業規則等で定めている		
④フレックスタイム制に係る労働条件 就業規則等で定めている		
⑤短時間勤務に係る労働条件 就業規則等で定めている	<input type="radio"/>	
⑥時差出勤制度に係る労働条件 就業規則等で定めている	<input type="radio"/>	
⑦有給休暇の時間単位取得又は計画的付与制度 就業規則等で定めている	<input type="radio"/>	
⑧傷病休暇等の取得に関する事項 就業規則等で定めている	<input type="radio"/>	
小計(注1)	5	点

(※) 8項目の合計点に応じた点数 (注1) 5以上:15点、4~3:5点、2点以下:0点

(VI) 経営改善計画		0 点
経営改善計画の提出を求められていない。または、経営改善計画の提出を求められているが、指定された期日までに提出している。	<input type="radio"/>	

期限内に提出していない場合:-50点

(VII) 利用者の知識・能力向上		10 点
前年度において、就労継続支援A型事業所等が利用者の知識及び能力の向上に向けた支援を行い、当該支援の具体的な内容を記載した報告書を作成し、インターネットの利用その他の方法により公表している。	<input type="radio"/>	

1事例以上ある場合:10点

項目	点数
労働時間	5点 20点 30点 40点 55点 65点 80点 90点
生産活動	-20点 -10点 20点 40点 50点 60点
多様な働き方	0点 5点 15点
支援力向上	0点 5点 15点
地域連携活動	0点 10点
経営改善計画	0点 -50点
利用者の知識・能力向上	0点 10点

合計	180 点 / 200点
----	-----------------

就労継続支援A型事業所におけるスコア表（実績Ⅰ～Ⅳ、Ⅵ）

(Ⅰ) 労働時間

前年度（令和5年度）

雇用契約を締結していた全ての利用者における延べ労働時間	83,079	時間	雇用契約を締結していた延べ利用者数	11,429	人	利用者の1日の平均労働時間数	7.26	時間
-----------------------------	--------	----	-------------------	--------	---	----------------	------	----

(Ⅱ) 生産活動

会計期間（4月～3月）

前々々年度（令和3年度）

生産活動収入から経費を除いた額	31,158,731	円	利用者に支払った賃金総額	73,082,962	円	収支	▲ 41,924,231	円
-----------------	------------	---	--------------	------------	---	----	--------------	---

前々年度（令和4年度）

生産活動収入から経費を除いた額	35,146,602	円	利用者に支払った賃金総額	72,402,612	円	収支	▲ 37,256,010	円
-----------------	------------	---	--------------	------------	---	----	--------------	---

前年度（令和5年度）

生産活動収入から経費を除いた額	74,017,572	円	利用者に支払った賃金総額	73,707,508	円	収支	310,064	円
-----------------	------------	---	--------------	------------	---	----	---------	---

(Ⅲ) 多様な働き方

前年度（令和5年度）における取組（全体表「(Ⅲ) 多様な働き方」の各項目において「就業規則等で定めている」と選択した場合に記載）

①免許・資格取得、検定の受検動奨に関する制度

◎免許・資格取得、検定の受検動奨に関する制度を定めている	<input checked="" type="checkbox"/>
------------------------------	-------------------------------------

②利用者を職員として登用する制度

◎利用者を職員として登用する制度を定めている	<input type="checkbox"/>
------------------------	--------------------------

③在宅勤務に係る労働条件及び服務規律

在宅勤務に係る労働条件及び服務規律に関する制度を定めている	<input type="checkbox"/>
-------------------------------	--------------------------

④フレックスタイム制に係る労働条件

◎フレックスタイム制に係る労働条件を定めている	<input type="checkbox"/>
-------------------------	--------------------------

⑤短時間勤務に係る労働条件

◎短時間勤務に係る労働条件を定めている	<input checked="" type="checkbox"/>
---------------------	-------------------------------------

⑥時差出勤制度に係る労働条件

◎時差出勤制度に係る労働条件を定めている	<input checked="" type="checkbox"/>
----------------------	-------------------------------------

⑦有給休暇の時間単位取得又は計画的付与制度

◎有給休暇の時間単位取得または、計画的付与制度を定めている	<input checked="" type="checkbox"/>
-------------------------------	-------------------------------------

⑧傷病休暇等の取得に関する事項

◎傷病休暇等の取得に関する事項を定めている	<input checked="" type="checkbox"/>
-----------------------	-------------------------------------

(Ⅳ) 支援力向上

前年度（令和5年度）における取組（全体表「(Ⅳ) 支援力向上」の各項目に取組あり選択とした場合に記載）

①研修計画に基づいた外部研修会又は内部研修会

◎研修計画を策定している	<input checked="" type="checkbox"/>
◎外部研修、もしくは内部研修を1回以上実施している。	<input checked="" type="checkbox"/>
※研修名	就労支援担当者研修会
研修講師	SST普及協会認定講師 土屋徹
実施日・受講者数	12月 11日 2人

②研修、学会等又は学会誌等において発表

◎研修、学会等又は学会誌等において1回以上発表している	<input checked="" type="checkbox"/>
※研修、学会等名	農福連携セミナー
実施日	2月 9日
※学会誌等名	
掲載日	月 日
発表テーマ	

③視察・実習の実施又は受け入れ

◎先進的事業所の視察・実習の実施している	<input checked="" type="checkbox"/>
もしくは、他の事業所の視察・実習を受け入れている	<input checked="" type="checkbox"/>
※先進的事業者名	水野商事株式会社
実施日/参加者数	2月 20日 2人
※他の事業所名	(福)博愛 みんなの作業所
実施日/参加者数	3月 5日 2人

④販路拡大の商談会等への参加

◎販路拡大の商談会や展示会等へ1回以上参加している。	<input checked="" type="checkbox"/>
※商談会等名	鳥取フェアへの出品商談会
主催者名	ホテルニューオータニ東京
日時	5月 26日
内容	知名度拡大を目標に東京で開催されるイベントに出荷できた。

⑤職員の人事評価制度

◎職員の人事評価制度を整備している	<input checked="" type="checkbox"/>
◎当該人事評価制度を周知している	<input checked="" type="checkbox"/>
人事評価制度の制定日	2年 4月 13日
人事評価制度の対象職員数	11名
うち昇給・昇格を行った者	1名
当該人事評価制度の周知方法	
制度説明資料を全員に配布	

⑥ピアサポーターの配置

◎ピアサポーターを配置している	<input type="checkbox"/>
◎当該ピアサポーターは「障害者ピアサポーター研修」を受講している	<input type="checkbox"/>
※配置期間	月 日～月 日
就業時間	
職務内容	

⑦第三者評価

◎前年度末日から過去3年以内に福祉サービス第三者評価を受けている	<input type="checkbox"/>
※評価を受けた日	月 日
第三者評価機関	

⑧国際標準化規格が定めた規格等の認証等

◎ISOが制定したマネジメント規格等の認証を受けている	<input type="checkbox"/>
※認証を受けた日	月 日
規格等の内容	

(Ⅵ) 経営改善計画

◎指定権者である都道府県（指定都市・中核市）へ、経営改善計画書へ提出した。

※受理日	令和5年 8月 25日
------	-------------

各項目について適宜、実績がわかる情報を追加すること。

就労継続支援 A 型事業所における利用者の知識・能力向上に係る実施状況報告書

事業所名	ウイズユー千代工場	事業所番号	3110100546
住所	鳥取県鳥取市晩稲306番地	管理者名	岡部哲彦
電話番号	0857-31-0077	対象年度	令和5年度

利用者の知識・能力向上に係る実施概要

<p><活動内容></p> <p>【活動場所】 鳥取市賀露町 地場産プラザわったいな 「鳥取県いなば農産物フェスタ」会場</p> <p>【実施日程】 令和5年10月14日（土）</p> <p>【実施概要】 A型利用者が自ら栽培・袋詰めした水耕栽培野菜を会場に搬入し、販売ブースを設営するとともに、来場者に対し、接客や商品野菜等の説明・販売を行った。</p> <p>【利用者数】 二人</p>	<p><活動の様子></p> <p>(別紙参照)</p>
<p><目的></p> <p>【利用者の知識・能力向上に係る実施のねらい】 ・日頃の就労（野菜の水耕栽培・収穫・調整）の成果を個々のレベルに応じて、地域の方々に直接紹介すること。</p> <p>【利用者にとってのメリット】 ・イベント参加を通じて地域社会における自立生活の実現に向けた実践の一つとなる。</p>	
<p><成果></p> <p>【実施した結果】 ・搬入した商品野菜をほぼ完売し、説明・接客もイベント終了まで継続した。</p> <p>【得られた成果】 ・利用者二人とともに、物おじせず、大きな声で「いらっしゃいませ」と呼びかけをすることができた。</p> <p>・地域の方々と直接触れ合う経験を重ねることで、グリーンファームでのA型就労に対する「やる気」に繋がった。</p> <p>【課題点】 販売ブースの面積に制限があるため、参加を希望する利用者が一同に参加できないこと。</p>	

連携先の企業や事業所等の意見または評価

「鳥取県いなば農産物フェスタ」への出店を通して参加された利用者地域の方々の交流が促進されるとともに、利用者の方々の就労レベルのこうじょうに寄与できたことを嬉しく思います。

今後とも同様のイベントの継続開催が必要と考えています。

連携先企業（担当者） 鳥取県障がい者就労事業振興センター（船内）

利用者からの意見・評価

商品野菜の説明・接客・金銭の受け渡しもできた。久しぶりの出展販売で、とても刺激になり面白かった。

鳥取県いなば農産物フェスタの様子



就労継続支援 A 型事業所における地域連携活動実施状況報告書

事業所名	ウイズユー千代工場	事業所番号	3110100546
住所	鳥取県鳥取市晩稲306番地	管理者名	岡部哲彦
電話番号	0857-31-0077	対象年度	令和5年度

地域連携活動の概要

<p><活動内容></p> <p>【活動場所】鳥取市全域 【実施日程】令和5年9月8日～現在継続中 【実施概要】 ・「鳥取市SDG s 未来都市計画」への参画申出、登録 ・（株）地域商社とつとりの連携協議、現地確認、取り扱い商品の選定、アドバイス ・選定商品のブラッシュアップ、パッケージ作成 【利用者数】13人</p>	<p><活動の様子></p> <p>（別紙参照）</p>
<p><目的></p> <p>【地位機連携のねらい】 鳥取市が主導する「鳥取市SDG s 未来都市計画」に社会福祉法人として参画し、同計画の参画企業である（株）地域商社とつとりと連携し、グリーンファーム（ウイズユーの農業部門）が生産する水耕栽培野菜を県内に向けて販売促進する。 【地域にとってのメリット】 地元消費者ニーズ（「新鮮」、「安全・安心」、「手ごろな価格」）に答える水耕栽培野菜が身近に購入できること。 【対象者にとってのメリット】 本活動による「多様な販路の拡大による、利用者賃金の引き上げ、就労環境の改善」につながること。</p>	
<p><成果></p> <p>【実施した結果】 ・同計画の参画企業として登録されたこと ・登録されたことで、（株）地域商社とつとりとマッチングできたこと ・（株）地域商社とつとりの提案をいかした商品の販売 【得られた成果】 ・同計画に参画企業として登録されたことでSDG s を推進するウイズユーが周知されるとともに、生産する野菜のブランド力が向上した。 ・県内販売促進について、具体的な提案（対象野菜の選定、パッケージの改良、新商品の開発）をいただき、実現できたこと。 ・生産する野菜の品質の高さが認知され、販売額の増加に繋がったこと。 【課題点】 県内、県外出荷におけるコストの削減</p>	

連携先の企業等の意見または評価

<p>・現在、（株）地域商社とつとりは、県内のみならず、県外の販路を拡大している。1週間に一度定量出荷をすることを前提に輸送コストも含め、経費に見合う価格設定を検討したい。</p> <p>・ウイズユーの既存の卸売りルートを活用した取引も可能性がある。</p> <p>・の付加価値を高めてパッケージの改良、新商品の開発に期待したい。</p>

連携先企業名	（株）地域商社とつとり	担当者名	藪内
--------	-------------	------	----

地域連携活動により考案された新パッケージ



鳥取市SDGs 未来都市計画

概要版

市からできる
世界への社会貢献



脱炭素先行地域
鳥取市

「脱炭素先行地域」に選ばれました!

鳥取市は、2030年にカーボンニュートラルを実現し、
全国のモデルとなる「脱炭素先行地域」に
2023年4月に選定されました。
地域や地元企業、金融機関などと連携しながら、脱炭素の
まちづくりに向けた取り組みを加速させます。

詳しくは
ウェブサイトで



鳥取市経済観光部 経済・雇用戦略課
スマートエネルギータウン推進室
〒680-8571 鳥取県鳥取市幸町71番地
TEL. 0857-30-8288 / FAX. 0857-20-3947
E-mail energy@city.tottori.lg.jp
[2023年7月発行]

(4) 多様なステークホルダーとの連携

団体・組織名等	特に注力する先導的取組における位置付け・役割
株式会社 鳥取再資源化研究所	廃ガラスのリサイクルによって生み出される、多孔質ガラス発泡材「ポーラスα」を製造する。鹿野地域を舞台に微生物発電の実証を手掛ける。
鳥取大学	ポーラスαが生み出す様々な特殊効果（農作物への影響や微生物発電の実証など）の調査・研究を行う。
公立鳥取環境大学	大学におけるフィールドワークやシンポジウム開催などの活動を通じて、地域とのSDGsをテーマにした取組の展開を図る。
丸紅グループ	(株)鳥取再資源化研究所と連携し、太陽光パネルリサイクルを通じた環境循環型ビジネス、及びポーラスαを活用し微生物発電によるクリーンエネルギーの供給や水質・土壌改良等の環境改善の取組を国内外で推進する。
株式会社メイワファーム HYBRID	再生可能エネルギーを活用した農業生産を実施する。同社は令和2年度に鳥取市内で新たに法人を立ち上げた農業法人で、温泉熱を活用したイチゴ栽培を行っている。
リバードコーポレーション(株)	再生可能エネルギーを活用した農業生産を実施する。同社は令和元年度よりグループ内に農業法人を設立して、イチゴ栽培やサツマイモ栽培を行っている。
株式会社 地域商社とっとり	微生物発電によりできあがった農産物や成果物について、自社ネットワークを活用した商品展開を行う。
株式会社 とっとり市民電力	再生可能エネルギーの地産地消を推進する（エネルギーの地産地消100%を目指し、再生可能エネルギーの供給や販売を行っている）。地域での新エネルギーを活用した電力供給システムの検討。
一般社団法人 麒麟のまち観光局	鳥取県東部及び兵庫県北部の市町で構成される「麒麟のまち圏域」での観光事業を創出するDMO。とっとりモデルでのラーニングワーケーションを企画・販売する。
株式会社山陰合同銀行 株式会社鳥取銀行	地元金融機関として、本事業を手掛けるために必要となる資金面を支援する。その他、農産物の販路支援や、投資資金の調達支援等を行う。
地元NPO法人	ラーニングワーケーションを実施するにあたり、必要となる地元との日程調整等のコーディネートを行う。

